

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
区域情報発信事業				東区役所企画総務課			
事業目的		事業効果		活動指標	R4	R5	R6
東区内の見どころを歩きながら楽しむことができる「東区わくわく散策マップ」等を活用し、地域の情報を発信することで、区域の散策を通じた東区の地域資源に対する関心の向上、世代間交流の促進及び健康増進等を図る。		・健康増進を通じた、「健やかに暮らせる、安全・安心なまち」の達成 ・世代間交流の促進を通じた、「人と人がつながり、賑わいのあるまち」の達成 ・地域資源への関心向上を通じた、「歴史・文化をつむぎ、育むまち」の達成		わくわく散策マップ 年間配布部数	1,540	1,850	1,400
				東区わくわく散策マップHP 閲覧者数	115件	155件	1,126件
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	区内外への地域資源や魅力の発信は公益性があり、区が実施主体となる必要性があるため、区での実施が妥当である。	○	区民の発案企画に基づき協働して作成したマップを配布し、同マップの要点を拡大した看板(サイン)を設置場所において土地所有企業の理解・協力を得て掲示している。	○	区域の見どころを写真とともに紹介し、地域資源を楽しみながら健康増進ができる当マップ及びサインは区域の特色を活かした事業である。またスマホアプリへの一部コースの登録により、GPS機能を使用してコースを辿ることができるようになり、利便性が向上した。	○	健康への関心が高い区民が集まる白鷺公園付近や初芝体育館にウォーキングコースの提案となる看板を設置したことで相乗効果が得られている。またスマホアプリへの一部コースの登録により、コストを要さず閲覧媒体を増やすことができている。
⑤自立発展性		総合評価					
—	当事業は掲載内容の正確性や掲載場所との調整、区外への情報発信が必要であるため、行政が実施すべき事業である。	○	今年度も引き続き健康増進や地域資源の理解に活用いただく等、利用者から好評をいただいております。区内の歴史資源や観光名所等への関心・愛着の向上や区民の健康増進に役立っている。 またスマホアプリを使ったツアーを開催したことで多くの人に東区の魅力を知ってもらえるきっかけになった。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
見直し	今後も利用される方のニーズに応えられるよう、掲載内容の更新や、スマホアプリを利用したデジタル化の拡大に取り組む。 なお次年度からは効率的な事業実施のため、歴史文化の発掘発信・郷土愛醸成事業の一環として実施する。						